

2023年8月17日

トヨタコレクション企画展 (※別紙1) 「からくり ご覧に入れまする」

トヨタ産業技術記念館（名古屋市西区則武新町 ※別紙2）では、2023年10月7日（土）より、標記の企画展を開催いたします。日本のモノづくりの源流ともいえる、主に江戸時代中期から明治時代初期の貴重な科学技術所蔵品から、「からくり」に関する資料展示を行います。

【タイトル】トヨタコレクション企画展

「からくり ご覧に入れまする」

皆さんは、「からくり人形」と聞いて、まず何を連想されますか？お祭の山車から人形など、動いて面白いイメージがあるでしょうか。今回は「からくり」の世界を用具の領域まで広げ、歴史やメカニズム、実演、体験など、幅広く揃えてみました。期間中の土・日・祝日はからくり実演会も行います。

【期 間】10月7日（土）～12月17日（日）

【会 場】トヨタ産業技術記念館 特別展示室

【開館時間】9：30～17：00 月曜休館（祝日の場合は翌日）

【入場料金】館の入場券（常設展）でご覧いただけます。

【後援】 犬山からくりミュージアム
九代玉屋庄兵衛後援会
名古屋少年少女発明クラブ



<みどころ>

- ・藩校や寺子屋教育などで養われた、外国の技術を吸収し独自に発展させる日本の素地と、津田助左衛門、玉屋庄兵衛などによる愛知からくり発展の軌跡を通して、「モノづくり愛知」の由来を紹介します。
- ・現代の機械を分解していくと、からくりにとどり着きます。それは複雑なしくみではなく、ギヤ、カムやクランクなどを巧みに使いこなして狙った動きを実現する先人の知恵であり、江戸時代の技術が今も生きていることを紹介します。
- ・からくり人形は、現代のロボットの原型とも言えます。江戸時代にはわざわざ失敗して見せるからくり人形も作られ、その人間味が庶民に親しまれました。そんな遊び心が、現代日本人のロボット観につながっていることを紹介します。
- ・目玉展示は田中久重作 弓曳童子、トヨタコレクション企画展 初公開は三元車となります。

<関連イベント>

- ・講演会

日にち	タイトル	講師
11月11日 (土)	からくりの起源と日本における 伝承と発展	鈴木一義（国立科学博物館名誉研究員）
12月10日 (日)	からくり人形を通じた伝統文化の 継承	九代玉屋庄兵衛（尾陽木偶師） 末松良一（九代玉屋庄兵衛後援会名誉顧問）

〈取材に関するお問い合わせ〉 広報グループ
TEL. 052-551-6111 FAX 052-551-6199
連絡先 e-mail: info@tcmit.org

【トヨタコレクションとは】

「トヨタコレクション企画展」は、日本近代化の原動力となった、江戸時代のモノづくり文化を紹介する展示会です。

19世紀後半の明治維新以降、日本は鎖国を解き、西洋文化を積極的に取り入れ急速に近代化を進めました。当時の技術者は西洋の技術をそのまま導入するのではなく、日本の風土や素材に合わせてオリジナリティあふれるモノづくりの技術に昇華させていきました。

トヨタコレクションは、江戸中期から明治初期の工学、医療、美術・工芸などに関する五百数十点におよぶ科学技術資料で、1999年にトヨタ自動車が取得し、2005年より当館にて一般公開しています。精密性や芸術性を備えた日本のモノづくりの神髄に迫るコレクションです。

日本の発展を支えてきた繊維機械と自動車の産業技術の変遷を紹介する常設展とともに、その源流となるトヨタコレクションの企画展を通じて、研究と創造の精神とモノづくりの大切さを感じ取っていただければ幸いです。

【主な展示物】

【弓曳童子】



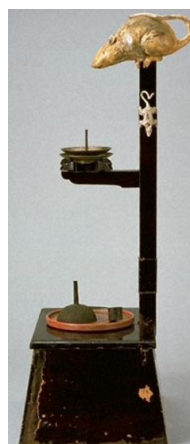
【段返り人形】



【鯉の瀧のぼり】



【ねずみ短檠】



【パノラマ鏡】



【大櫓時計】



【三元車】



【ボタン高機】



【トヨタ産業技術記念館のご案内】

トヨタ産業技術記念館は、1994年にトヨタグループ17社の共同事業として、グループ発祥の地である旧豊田紡織株式会社本社工場跡に設立されました。建築史的にも貴重な赤レンガの建物を産業遺産として保存・活用し、「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さや素晴らしさを、本物の機械の動態展示と多彩な実演を通じて伝えています。

- (1) 所在地： 名古屋市西区則武新町4-1-35
TEL：052-551-6115
FAX：052-551-6199
- (2) 開館時間： 9：30～17：00（常設展示場への入場受付は16:30まで）
*休館日は月曜日（祝日の場合は翌日）
- (3) 入場料： 大人 500円、65歳以上300円、
中・高生 300円、小学生 200円、 団体割引あり
- (4) ホームページ： <https://www.tcm.it.org/>
- (5) 取材申し込み： <https://www.tcm.it.org/application/press/>